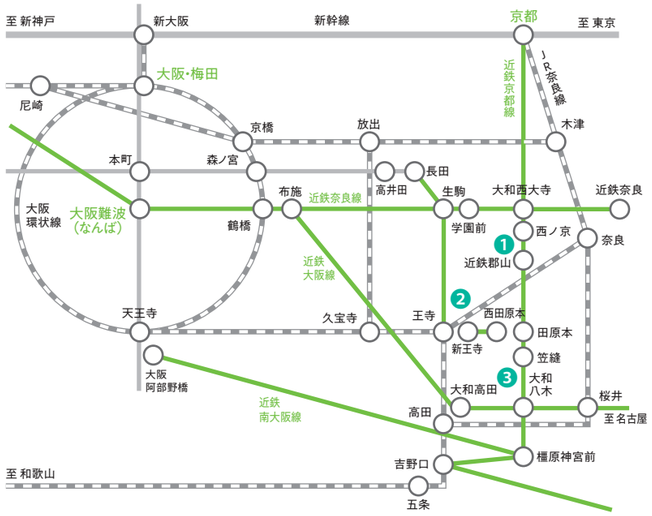
交通アクセス



1 奈良県総合医療センター
TEL.0742-46-6001
〒630-8581　奈良県奈良市七条西町2丁目897-5

最寄駅からのアクセス

- 近鉄学園前駅から路線バスで約20分～25分
- 近鉄西ノ京駅から路線バスで約10分～15分
- 近鉄郡山駅から路線バスで約10分

2 奈良県西和医療センター
TEL.0745-32-0505
〒636-0802　奈良県生駒郡三郷町三室1丁目14-16

最寄駅からのアクセス

- JR王寺駅・近鉄王寺駅・近鉄新王寺駅から徒歩約15分

3 奈良県総合リハビリテーションセンター
TEL.0744-32-0200
〒636-0393　奈良県磯城郡田原本町大字多722

最寄駅からのアクセス

- 近鉄笠縫駅から徒歩約20分

Nara Prefectural Hospital Org.

奈良県立病院機構　看護師募集案内

奈良県総合医療センター
奈良県西和医療センター
奈良県総合リハビリテーションセンター

今日も、明日も、ずっと
未来へとつづく奈良看護のきずな

地方独立行政法人 奈良県立病院機構
Nara Prefectural Hospital Organization

職員募集に関するお問合せ
TEL.0742-81-3400　http://www.nara-pho.jp
◎施設見学などは、各センターの担当部門にお気軽にご相談ください

地方独立行政法人 奈良県立病院機構
Nara Prefectural Hospital Organization

奈良の医療を守り、育てる。

「奈良に暮らす方々の命を守り、健康を支える」。

それが私たち奈良県立病院機構の使命。

こうした姿勢のもと、看護部が目指すのは

「患者さんに寄り添う看護」。

この目標を実現するため知識と技術を磨くと共に、

患者さんやご家族、そして仲間を思いやる感性を育みます。

看護の道、患者さんの暮らしは

今日も、明日も、ずっとつづきます。

理想の看護に向かって絶え間なく、一歩ずつ前進する。

それが看護師のやりがいであり、喜びです。

光明皇后の意志を継ぐ 奈良看護

奈良時代、聖武天皇の妃、光明皇后は千人の人々の体を洗う施浴を行いました。皮膚がただれ、膿が出ている患者もためらわず、平等に触れ合い、伝説となっています。その他にも医療施設である「施薬院」や貧困者救済のための「悲田院」をつくり、人々を救おうとしました。古くからこの奈良の地に伝わる“誰にでも平等に慈愛の心をもって接する”という看護の原点を「奈良看護」と名付け、私たちは実践しています。

Index

奈良県立病院機構について ―― 03

病院紹介 ―― 05
- 奈良県総合医療センター
- 奈良県西和医療センター
- 奈良県総合リハビリテーションセンター

新人教育について ―― 07
新人教育年間プログラム
新人看護師の1日

教育研修制度について ―― 09
特徴、キャリアラダー

先輩看護師の声 ―― 11

スペシャリスト紹介 ―― 13

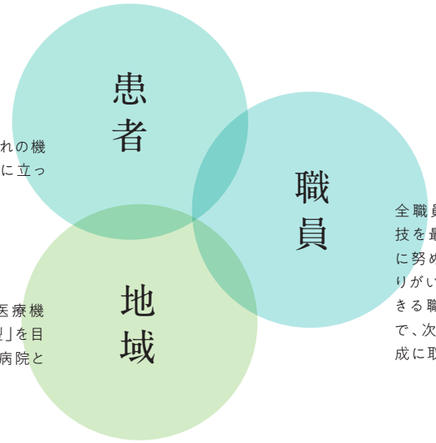
ワークライフバランス ―― 14
福利厚生、子育て支援など

法人概要

Philosophy
法人理念

“医の心と技”を最高レベルに磨き、
県民の健康を生涯にわたって支え続けます。

Action Agenda
法人の目指す姿



患者にとって最適な医療の提供

3つの医療センターが持つそれぞれの機能を最大限発揮し、患者の視点に立った最適な医療を提供します。

地域の医療力向上への貢献

県民の健康を守るため、地域の医療機関との連携を深め、「地域完結型」を目指す医療提供体制における基幹病院となります。

最高レベルの医の心と技をもった人材の確保・育成

全職員が協力し、医の心と技を最高レベルに磨くことに努めるとともに、誇りややりがいを持って働くことができる職場環境をつくることで、次代を担う医療人の育成に取り組みます。

Organigram
法人組織図

- 法人本部事務局
- 理事長
- 理事会
- 監事

理事長 ─
- 奈良県総合医療センター
- 奈良県西和医療センター
- 奈良県総合リハビリテーションセンター
- 奈良看護大学校
- 医療専門職教育研修センター

Symbol Mark
シンボルマーク

患者、県民を表す球を優しく守るように包む2枚の葉が、それぞれ「医の心」と「医の技」を表しています。奈良の豊かな山々「青垣」をイメージするグリーンをイメージカラーとしています。

奈良県立病院機構DATA

数字で読み解く、充実した診療体制

Staff
職員数 **1,769**人

総合医療センター1,065人
西和医療センター504人
総合リハビリテーションセンター161人
奈良看護大学校他39人

Beds
病床数 **940**床

総合医療センター540床
西和医療センター300床
総合リハビリテーションセンター100床

Clinical department
診療科数 **71**

総合医療センター35診療科
西和医療センター26診療科
総合リハビリテーションセンター10診療科

2023年3月1日現在

看護部長 Message

3病院の看護部長が伝える看護への想い

奈良県総合医療センター

看護部門のモットー
「支え合い・あふれる笑顔で、チーム医療」

当センター看護部は法人理念の基、「個人としてのあり方」、「チーム・組織としてのあり方」を常に内省し、学びの拡大を心がけています。すべてのキャリアの方と共に学び（共育）共に進む（共進）。お互いを尊重し、お互い支え合い、医療を取り巻く厳しい局面を乗り切っていきたいと思います。そのためには、高度な知識技術の修得はもちろんですが、働く環境、コミュニケーション、関係性などの課題に対し、皆で向き合う必要があります。
高度な医療を県民の皆様へ提供するためにも、理念を遂行するためにも、全員（皆）で原点を忘れず、役割を共有して行きたいと思います。

副院長 兼 看護部長　杉元　佐知子

奈良県西和医療センター

看護の喜びを感じながら成長し、思いやりのある看護師を目指す

当センターは、奈良県西和地域での重症急性期医療の提供、また、医療介護連携のシステム構築と維持の中心的役割を果たしています。看護部では、「患者さんを家族のように愛する」という病院理念に基づき、患者さんをはじめ、連携するあらゆる方々への「思いやり」を大切に、日々看護を提供しています。また教育体制を手厚くし、新人看護師をはじめ職員が安心して成長できるよう、OJTに力を入れた「共育」に取り組んでいます。私たち看護部は、「良い医療をより多くの患者さんに」提供する担い手として、看護を楽しみながら共に成長していける組織作りに努めています。

副院長 兼 看護部長　竹之内　美栄

奈良県総合リハビリテーションセンター

患者さんの気持ちの揺らぎに寄り添い患者さんの目標を多職種で支援

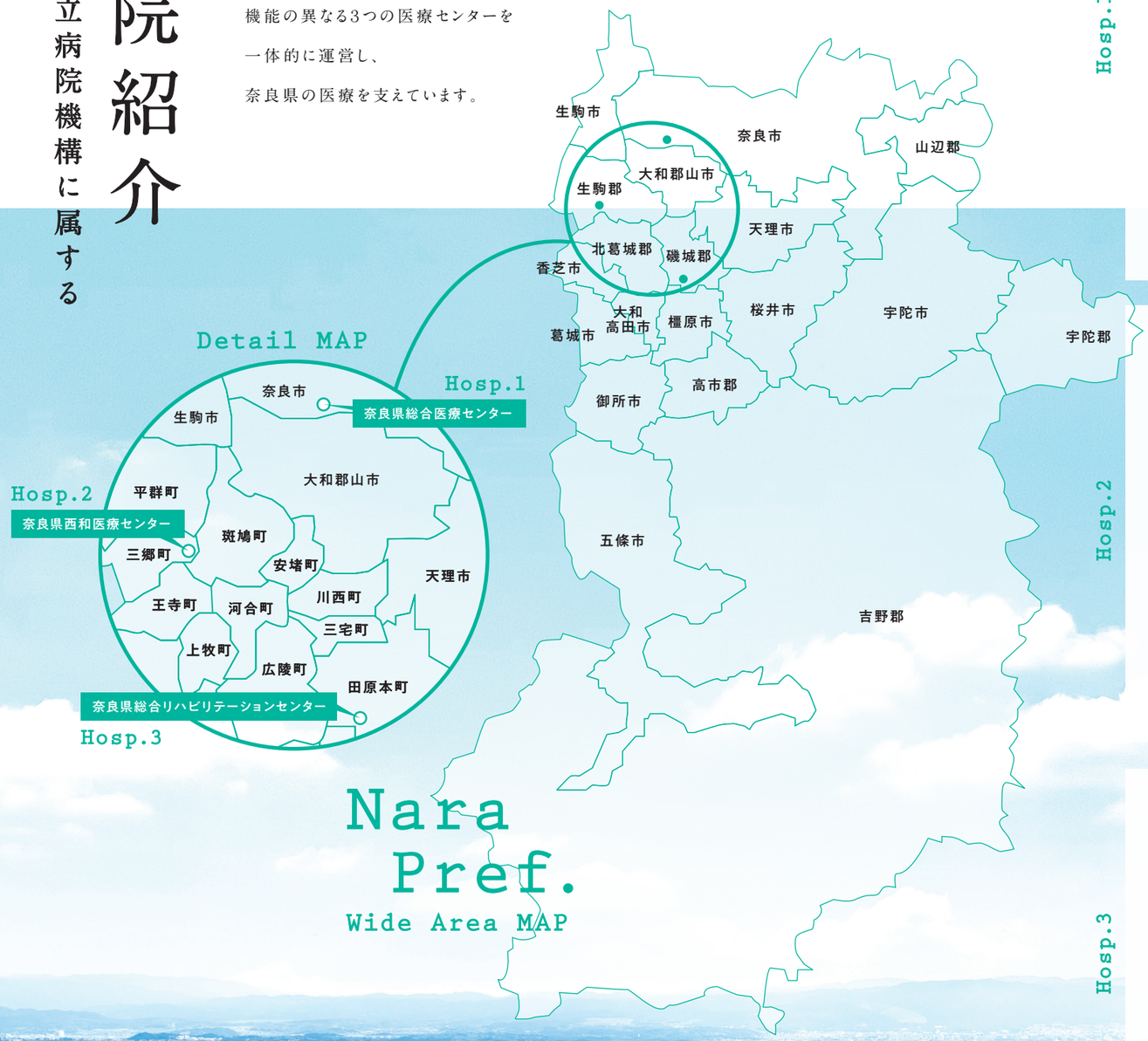
当センターは回復期病院として、急性期治療を終えた患者さんをできるだけ早期にお受けし、集中的なリハビリを実施して在宅・社会復帰をめざす使命があります。患者さん・ご家族はある日突然の出来事に例えようのないショックを抱えている方がほとんど。だからこそ、患者さんの気持ちの揺らぎに寄り添うこと、患者さんの心の声を聴くことが大事。患者さんが良くなりたい！と思えることと同時に、患者さんをよくしたいと考える医療者の姿勢が必要です。患者さんが「どうなりたいのか」という長期目標を多職種の共通目標に、チームアプローチの実践、患者参加型のカンファレンスを行っています。

副院長 兼 看護部長　柏木　三貴子

病院紹介

奈良県立病院機構に属する

奈良県立病院機構は、
高度急性期・急性期から回復期まで
機能の異なる3つの医療センターを
一体的に運営し、
奈良県の医療を支えています。



奈良県総合医療センター

県全域を対象に、高度医療の拠点としての役割を担う。

奈良県の地域医療の核として、地域住民への貢献に加えて、県内の医療関係者の教育機関としての役割も担っています。急性期、慢性期と症状はそれぞれ異なっても、人生に寄り添える看護というのは、どのステージでも等しく行わなければならないという考えのもと、病気や患者さんの人生を知り、最良の看護へと繋げています。

病院概要

開　　設　2018年5月1日新築移転（旧病院1964年4月1日）
院　　長　松山 武　**副院長 兼 看護部長**　杉元 佐知子　**職員数**　1,065名
病 床 数　540床（救命救急センター、精神病棟、感染症病床を含む）　**看護基準**　7:1看護
診療科目　消化器内科、糖尿病・内分泌内科、呼吸器内科、循環器内科、腎臓内科、脳神経内科、血液・腫瘍内科、緩和ケア内科、感染症内科、小児科、精神科、消化器・肝胆膵外科、呼吸器外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、脊椎脊髄外科、乳腺外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、頭頸部外科、口腔外科、形成外科、麻酔科、放射線診断科、放射線治療科、救急科、病理診断科、小児外科、リハビリテーション科、総合診療科、小児泌尿器科

奈良県西和医療センター

医療機能の充実で、奈良県西和の地域医療に貢献する。

奈良県西和地域の基幹病院として、「患者さんを家族のように愛する」という理念のもと日々の看護に従事し、患者さんのご家族にもいい看護が提供できるよう、看護部全体の協力体制も整えています。全身の循環器疾患を各診療科の枠を超えて治療するなど、さまざまな症例に最良の医療を提供しています。

病院概要

開　　設　1979年4月1日
院　　長　土肥 直文　**副院長 兼 看護部長**　竹之内 美栄　**職員数**　504名
病 床 数　300床（一般病床）　**看護基準**　7:1看護
診療科目　総合内科、腎臓内科、循環器内科、消化器内科、消化器・糖尿病内科、脳神経内科、呼吸器内科、感染症内科、小児科、乳腺外科、外科・消化器外科、整形外科、脊椎脊髄外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、皮膚科・形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科

奈良県総合リハビリテーションセンター

高度で専門的なリハビリテーションを総合的に行う。

普段の動作がリハビリにつながる回復期の看護は、患者さんの出来ること・出来ないことを見極め、適切な補助を通して、早期の日常生活復帰を一緒に目指します。専門性の高いリハビリテーションにおいて看護師は、特にチーム医療での役割が大きく、各専門分野との関わりが深い看護部が中心となって患者さんに治療を提供しています。

病院概要

開　　設　1988年6月13日
院　　長　川手 健次　**副院長 兼 看護部長**　柏木 三貴子　**職員数**　161名
病 床 数　100床（一般病床26床、回復期リハビリテーション病床74床）　**看護基準**　15:1、13:1看護
診療科目　内科、脳神経内科、小児科、整形外科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、精神科、放射線科、リハビリテーション科

新人教育について

New employee education

看護師として成長　していくための基礎を、安心・着実に習得

新人教育年間プログラム

Program

3ヶ月振り返り研修

「バンビナースハンドブック」などを活用し、3ヶ月間の自己の成長の振り返りとその共有を行い、新人看護師のリフレッシュとネットワークの強化を図ります。

6ヶ月振り返り研修

お互いの心に残った看護体験を共有することで、看護に対する思いや考えを深める機会とし、お互いの成長を認め合い、明日への意欲に繋げます。

充実の1年間なので自分の成長を実感できます!

4月　5月　6月　7月　8月　9月　10月　11月　12月　1月　2月　3月

日勤デビュー　夜間シャドーイング　夜間見習い　夜間デビュー

- 新規採用者研修
- 看護技術研修
- 記録研修 等

1ヶ月振り返り研修

1ヶ月を振り返り、自分の思いを言葉で表現することで、看護師としての自覚やモチベーションに繋げます。

12ヶ月振り返り研修

1年前のなりたい自分の姿と比較しながら1年間の成長の振り返りを行い、自己の成長を実感できるようにサポートします。そして新人同士が互いに成長を承認し合ったり、指導に関わる先輩からのポジティブメッセージを受けとったりと自己を肯定的に捉える機会を設け、次年度への意欲向上に繋げます。

新人看護師の1日

1day Schedule

8:30 出勤

お仕事スタート!

今日も1日頑張るぞ!

8:45 ウォーキングカンファレンス&カンファレンス

夜勤・日勤の看護師が揃って患者さんの状態などについて情報共有を行い、ケア内容や患者さんの病状について確認します。

9:30 検温

患者さんを巡回し、挨拶や検温を行います。五感をフル活用しながら、小さな変化も見逃さないように。患者さんとのコミュニケーションも大切です。

11:00 手術入室

術前に患者さんの不安を取り除くために、声をかけるなど、気持ちを落ち着かせるための看護を心がけています。

11:30 昼食

交代でとりながら、指導係の先輩とコミュニケーション。午後に向けて、気持ちもリフレッシュ。

13:00 リハビリテーション

社会生活への復帰を目指す患者さんのリハビリをサポート。患者さんが頑張る姿に、看護師も勇気づけられます。

14:00 記録

患者さんの状態や看護記録を電子カルテに入力。入力方法は先輩から教わります。

15:30 先輩と振り返り&リーダーへの報告

1日の看護内容を先輩といっしょに振り返り、リーダーに最終報告。振り返りを通して、自分の成長に繋げます。

17:15 業務終了お疲れ様でした。

夜勤は一年目からスタート!!(翌日休み・週休2日)

バンビナースサポートシステムについて

Support System

看護師としてのスキルや心構えを学び、振り返りを通して着実に一歩ずつ成長できるサポート体制。個別のレベルに合わせた研修内容と先輩看護師による教育・指導により、安心して学ぶことができます。
知識・技術の習得と職場適応促進のサポートをし、相談・報告のしやすい環境で、自分の目標を見つけることができます。

- 知識・技術のサポート
- 職場適応促進
- 相談・報告しやすい環境

一人ひとりの成長に合わせた、バンビナースサポートシステム

少し前まで新人だった、先輩たちが感じたサポートシステムの特長

新人が悩む時期に合わせて、振り返り研修や基礎看護技術研修が組まれているので安心です!

部署全体で新人を指導してくださるので、視野が広がり、多くのことを吸収できます!

先輩方がサポートしてくださり、患者さんやご家族とコミュニケーションがとれるようになりました

2年間で看護の基礎を学ぶプログラムだから、ひとつずつ着実にステップアップできます

教育研修制度について

Education and training system

一人ひとりの目標に応じてキャリアを築ける
機構の特色を活かした支援体制

バンビナースサポートシステムを活用して、卒業後もそれぞれの目標に合わせた研修が充実。
なりたい看護師を目指して歩むことができます。一人ひとりの看護師人生を支えるため、新人から管理者まで5段階に分けたクリニカル・ラダー制を導入。各ステップで到達すべき目標を設定し、進学やステップアップなどの幅広い進路に応えます。
また助産師や認定看護師といった資格取得についても相談や支援を行っています。

クリニカル・ラダー制
Clinical Ladder

資格取得のために進学もできます!

大学・大学院

ラダー1（新人）
新規採用所属の臨床場面において、指導や教育を受けながら、看護を実践することができる。
バンビナース サポートシステム

ラダー2（一人前）
所属の臨床場面において自立し、看護を一人前に実践できる。

ラダー3（リーダーナース）
チーム全体を把握し、個別的な看護を実践できる。

ラダー4（チーフナース）
看護実績においてロールモデルとなり、チーム医療において、組織的な役割を遂行できる。

ラダー5（達人）
論理的かつ実践的知識を統合して、卓越した看護を実践し、組織から求められる成果・責任を問われる役割を遂行できる。

機構だから幅広い未来が描けます

ジェネラリスト
特定の診療科や領域にとらわれることなく、幅広い知識と技術を活かして看護を展開できる看護師です。

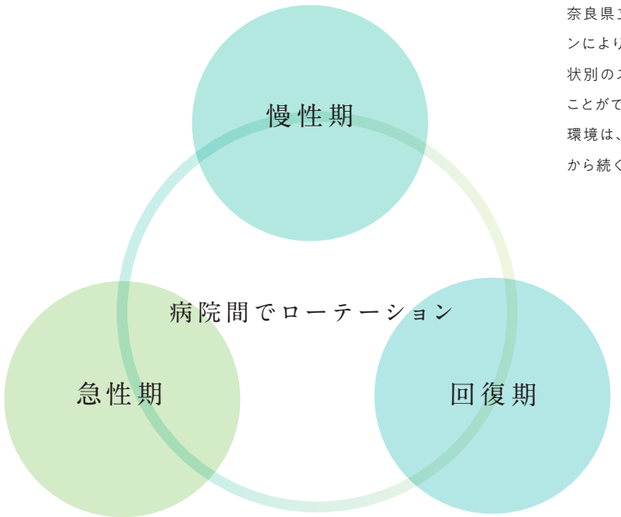
助産師
妊娠から出産、育児まで、母子の健康を支える専門職です。

専門・認定看護師
どちらも特定の領域に関して専門的な知識と技術をもったスペシャリストとして認められた看護資格です。専門看護師は地域連携など活動範囲が広く、認定看護師は看護実践に重点が置かれている点が特徴です。

育成指導者
各部署で行う新人・若手看護師教育の中心的役割を担い、実地指導者のサポートなども行います。

看護教員
当機構の「奈良看護大学校」の教員として、看護学生の指導を行います。

Point 1
3病院連携により、あらゆる場面に対応した看護を広く学べます。



奈良県立病院機構では、3つの病院間のローテーションにより、高度急性期から回復期、さらに在宅まで、症状別のステージにより異なる看護をそれぞれ深く学ぶことができます。ステージや分野ごとで専門的に学べる環境は、将来目指したい看護師像を形成しやすく、これから続く看護人生を充実させます。

Point 2
研修プログラムや演習設備が充実！全職員のキャリアアップを支援する「教育研修センター」

奈良県総合医療センターに併設された「医療専門職教育研修センター」では、医師・看護師・薬剤師・各種技師など国家資格を持つ医療者に加え、事務系も含めた多職種の卒後～生涯教育を行っています。2021年度より開始した「看護師の特定行為研修」では、21区分全ての科目を履修できる環境を整え、機構内各センターの看護師を育成しています。

子育て支援制度も充実！
Child care support system

出産（産前・産後）休暇、育児休業、育児部分休業、子どもの看護休暇など、多様な勤務形態や支援でワークライフバランスを実現しています。

詳しい制度内容は14ページに掲載しています!

先輩看護師の声 Interview

目標とやりがいをもって活躍する、　先輩看護師たち

奈良県総合医療センター
SCU クリティカルケア認定看護師／2005年入職

患者さんの力になるため 学びの機会を活かして成長

救命救急センター、一般病棟などを経て、現在は脳卒中ケアユニット（SCU）の主任として活動しています。私は、日々の看護を通じてエビデンスに基づいた看護をしたいという想いが強くなり、これまでクリティカルケア認定看護師、臨床輸血看護師、呼吸療法認定士、特定行為の資格を取得しました。また奈良は近くに病院がない地域が多く、三次救急の経験を活かして、ドクターヘリナースとしても活動しています。こうしたスキルを活かせた時にやりがいを感じ、次の目標に向かうことができます。

私がこの病院を選んだ理由

幅広い看護力を身につけるため、様々な疾患の患者さんを看る救命救急センターがある総合医療センターに入職しました。

奈良県総合医療センター
6階西病棟（整形外科、脊椎外科、皮膚科、形成外科）
／2018年入職

手術を受ける患者さんの 不安を和らげるサポートを

私が所属する病棟の特徴は、手術を受ける患者さんが多いことです。患者さんやご家族にとって手術は非日常的なことで不安も大きいため、術前・術後のサポートは大切です。私は、手術の説明をする際、正確な情報をわかりやすく伝えるように心がけています。また新型コロナウイルス感染症の影響で、患者さんとご家族が面会できない状態が続いているので、そういった面でも私たち看護師が支えになれるよう努めています。

私がこの病院を選んだ理由

地域に密着した急性期病院であり、実習を受けさせていただいた時に先輩が親切で安心感があったので志望しました。

ステップアップするための 手厚いサポートが特長

ICUでの看護では患者さんの病態管理に加えて、ご本人とご家族の不安を和らげるサポートも重要です。そのためにしっかりコミュニケーションをとって、患者さんとご家族の想いに共感するよう心がけています。そうして回復されて、一般病棟に移られる時がいちばん嬉しい瞬間です。また、キャリアを重ねるなかでプリセプターやリーダーなど様々な役割を任せていただけるのですが、その際に手厚い研修や先輩の指導があることも当センターの特長だと感じます。

私がこの病院を選んだ理由

新人教育制度とキャリア支援が整っていて、実習で看護師間の関係が良いことが伝わってきたことに惹かれました。

奈良県西和医療センター
南4階病棟（ICU）／2017年入職

患者さんと向き合い 支えになることがやりがい

外科の患者さんは状態の変化が大きく、急変されることもあるので対応力が求められます。特にむずかしいのは術後の状態管理です。でも、病棟の先輩方や認定看護師さんが親身になって指導・サポートしてくださるので心強いです。1年目は目の前の業務を行うことで精一杯でしたが、最近は少しずつ患者さんとコミュニケーションをとれるように。患者さんに「ありがとう」と声をかけてもらったり、笑顔で退院される姿を見ると、看護師になってよかったと感じます。

私がこの病院を選んだ理由

実習で先輩が患者さんと向き合った看護をされているのを見て、理想の看護像と重なったことが決め手になりました。

奈良県西和医療センター
南6階病棟（外科）／2021年入職

奈良県総合リハビリテーションセンター
4階病棟／2011年入職

障害を乗り越え生きていく患者さんの 人生に関わる喜びと使命感

リハビリ看護師として、患者さんの疾患だけでなく人の全体像をとらえて支えることを意識しています。患者さんの1番の理解者となり、信頼関係を築くことで、どんな時も味方でいられる存在でありたいと思っています。回復過程を共に歩み、看護師との関わりが患者さんの人生を大きく左右するのだと実感しています。限られた入院生活の一日一日を無駄にすることなく、使命感と責任感を持ち続けて働いていきたいです。

私がこの病院を選んだ理由

急性期病院で勤務するなか、手術を乗り越えた患者さんの回復期を支えたいという想いが強まり異動を希望しました。

奈良県総合リハビリテーションセンター
3階南病棟／2001年入職

機構内異動で 育児と仕事どちらも充実

回復期・リハビリ病院の看護は、患者さんに前向きな気持ちでリハビリに取り組んでいただけるように、寄り添いながらサポートする比重が大きいことが特徴です。そうした点が急性期病院での看護と異なるところであり、むずかしいところでもあります。しかし、当センターの看護師や医師、理学療法士や作業療法士など、様々な職種の方々のアプローチにふれて看護の視野が広がりました。また自宅に近い職場に移ったことで、子どもとの時間を多くもてるようになりました。

私がこの病院を選んだ理由

通勤時間がかかることもあり、育児との両立がむずかしくなったため師長に相談したところ、機構内異動を勧めてくださいました。

スペシャリスト紹介 Specialist

診療、認定、専門、特定行為看護師や助産師、看護教員など、看護師のキャリアは多岐に渡り、一人ひとりのキャリアビジョンに応じて、そのすべての可能性をサポートします。
また、資格取得のための進学の際は、仕事を休みながら通学できる休業制度や、学費の一部補助などの支援制度も整っています。

診療看護師	認定看護師	専門看護師	特定行為看護師
1人	32人	3人	25人

患者さんの健康維持に向けて 看護・医学の視点から看（診）る

診療看護師（NP）とは、看護師としての経験に加え、医学的な知識も備えた、特定の医療行為を行える看護師です。まだ全国に約700人しか資格取得者はいませんが、医師から他職種へのタスク・シフト/シェアや、診療の質向上において注目されている職種です。私が診療看護師を目指したのは、「患者さんに対して継続的なフォローアップをしたい」、「医学的な知識が足りない」という自分自身の課題を解決するためでした。クリティカルケアからプライマリケアまで幅広い知識と技術を身につけて、看護・医学の両サイドから看（診）ることができるようになればと考えました。現在は心臓血管外科で周術期を通して患者さんと関わり、患者さんの治療をサポートするだけでなく長期的に健康を維持できるように、自分に何ができるかを考え行動するように努めています。

奈良県総合医療センター
診療看護師（NP）／2018年入職
市川 慶幸

奈良県西和医療センター
手術室、感染対策室
感染管理認定看護師／2010年入職
森脇 美智子

組織横断的な活動で すべての人を感染から守る

感染管理認定看護師の資格を取得する前は、手術室所属で特に関心が高いというわけではありませんでした。しかし、看護部感染防止委員に任命されたことがきっかけで感染対策の重要性を感じるようになり、専門的な知識を習得したいと思い、認定看護師を目指しました。その際には、資格取得の支援制度に加えて、職場の方々や家族のサポートがあったこともチャレンジの後押しになりました。現在はICT（感染対策チーム）とAST（抗菌薬適正使用支援チーム）のメンバーとして、感染予防対策の検討や、実態調査と評価などを組織横断的に行っています。私の仕事はみなさんに実行していただいてはじめて効果が出るので、まずは関心をもってもらうことを重視しています。思うようにならないこともありますが、だからこそ効果が現れた時の喜びは大きいです。

ワークライフバランス Work Life Balance

福利厚生・子育て支援について

産前・産後サポート

産前産後休暇が112日あるから安心です！

保健指導・健康診査休暇
妊娠中または出産後1年を経過していない女性職員が保健指導や健康診査を受ける場合、定められた期間に応じて休暇が取得できます。

通勤緩和休暇
通勤時の混雑を避けるため、1日1時間の範囲内で出勤を遅らせたり、帰宅を早めることができます。

妊娠がわかった時 ― 産前休暇 ― 出産 ― 産後休暇 ― ~3歳

出産（産前・産後）休暇
出産予定日より8週間（多胎妊娠の場合は14週間）前から産後8週間まで、または産前休暇を始める日から16週間（多胎妊娠の場合は22週間）を経過する日まで休暇を取得できます。

育児休業
女性は出産休暇終了日の翌日から、男性は子どもの出生後から子どもの満3歳の誕生日の前日まで休業することができます。

出生サポート休暇
不妊治療にかかる通院等のために年最大15日まで休暇を取得できます。

配偶者出産休暇
男性職員が、妻の出産に伴う入退院・出産時の付き添い等のために3日まで休暇を取得できます。

育児時間休暇
子どもが生後1歳3ヶ月になるまでは、1日2回、1回30分の休暇を取得できます。
※まとめ取りは60分まで

育児部分休業
小学校3年生までの子どもの養育のため、週18時間45分の範囲で勤務時間の一部を休業できます。

子どもの看護休暇
小学校6年生までの子どもの看護や退院等の世話のため、年5日まで休暇を取得できます。
※子どもが2人以上の場合は年10日まで

遅出勤務
子どもが小学校6年生までは、特定の曜日について勤務時間を午前9時から午後5時45分に変更することができます。

復帰後は、不安を軽減できるよう職場研修などでサポートしています。

院内保育所について

奈良県総合医療センター、奈良県西和医療センターでは院内保育所を設置。子どもの送り迎えがスムーズにできて、発熱などの緊急時にもすぐに対応できます。夜間保育にも対応するなど、子育て支援の充実化を図っています。

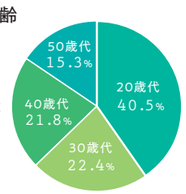
自分の時間ももちながら育児と仕事を両立

小さな子どもをもつママナースとして働いています。出産後は育児休業を取って、子どもの成長を間近で見守ることができました。復帰後は忙しい毎日を送っていますが、部分休業や夜勤免除などの支援制度を活用して両立。自分の時間ももつことができ、すごく充実しています。

数字で見る奈良県立病院機構 2023年3月1日現在

看護師職員数
1,054人
男性 104人　女性 950人

看護師の平均年齢
33.2歳



看護師の育児休業・育児部分休業取得者数（令和4年度）
育児休業 107人（うち男性11人）
育児部分休業 118人

育児休業後の復帰率（令和4年度）
97%